

令和3年度 第1回立山町総合教育会議 議事録

1. 開催日時 令和3年4月26日(月) 11時～12時
2. 開催場所 立山町役場4階 全員委員会室
3. 参加者 町長 舟橋貴之
教育委員会 教育長 大岩久七
委員 柴田智子 金川良子 向雅己 久保田真砂美
4. 事務局 企画政策課 林弥生、山田真樹子、海老原理恵子
教育課 青木正博、松島祐子
5. 傍聴人 1名

協議事項1

●立山町教育大綱の改定について

- ・事務局より改定内容について説明がされた後、町長と教育委員との意見交換がされた。

■立山町教育大綱の改定について 【説明者：企画政策課】

○2016年3月に策定した「立山町教育大綱（計画期間2021年度～2025年度）」を2021年3月に改定した。改定にあたっては、同時期に策定した「第10次立山町総合計画」との整合性を図るとともに、国や県の教育大綱等の考え方も踏まえている。実施にあたっては、町教育委員会が定めた「第2期立山町教育振興基本計画（2021年3月改定）」と連動しながら教育施策を展開する。

- ・基本理念・・・【新】ふるさとに愛着をもち次代を担う「人材」を育成する
【旧】生きる力を身につけ、次代を担う「人材」を育成する
※第10次立山町総合計画において、自然、歴史、食、伝統文化等、地域固有の魅力を発信し、郷土を想う意識の醸成に努めるとしている。また、県教育大綱の基本理念でも「ふるさと富山に誇りと愛着を持ち」と掲げられている。
- ・基本目標1～基本目標5については、変更無し。

◇教育委員からの意見

- ・基本目標にも示されている「生きる力」という言葉が基本理念に残っていた方がよかった。
- ・ICT教育の充実が位置付けられているなど全体的に今の時代に合った内容に修正されている。
- ・基本目標にあるように学校、家庭、地域が連携し、一体となって施策を進めていくべき。
- ・地場産食材を使った給食を通じた食育や地域の人材を活用したスポーツのきっかけづくりを進めていくべき。
- ・コロナ禍においても可能な「ふるさと教育」として、地域の素晴らしい施設や資源を紹介・利用してもらいたい。
- ・国際人を育てるためにも、外国語に早い段階から触れる取組みを継続させていくのがよい。
- ・「自ら地域の課題を発見し解決する能力を身につけられる」ことはとても大事である。
- ・立山図書館に様々な機能を持たせ、学校・図書館・公民館が連携して子供たちの知識の習得を支援する体制づくりをお願いしたい。
- ・コロナ禍の子供たちの夢や進路をサポートする学校や地域の力が大切である。
- ・これからは、自分の身を守るための心の教育にも力を入れていくべき。
- ・社会変化が激しい時代を生き抜くために、読み解く力や課題解決力の習得が大切である。

◇町長の発言

- ・ 5年前の教育大綱の策定時と変わらず、基本目標1には、思いやりを持ち、世間に恥ずかしくない行動ができる子どもたちを育てたいという私の思いが入っている。
- ・ 「デジタル教科書の推進」についてアンケート調査があり、「デジタル教科書も良いが、紙媒体の教科書は大切であり、無くすのは反対である。デジタルと紙の併用であるならば良い」と回答した。町としては、この方針で進めたいと考えるかいかがか？
→全委員が「賛成」

報告事項

●新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策として町立小中学校等で実施した主な事業を報告。

【説明者：教育課】

- ・ 小中学校（7校）内消毒清掃作業（R2.7～R3.3 一日おきに実施。）→R3年度も継続実施の予定
- ・ 小中学校（7校）への網戸設置（約800枚）（換気対策）
- ・ 小学校（6校）内トイレ・ランチルーム等手洗い自動水栓化 →中学校の意向確認し、希望あればR3実施予定
- ・ 立山図書館への図書消毒機（1台）の導入

◇町長の発言

- ・ 新型コロナウイルス感染対策のため、小中学校や保育所等では換気のため窓を開けばなしにしているが、寒い時期には暖房やヒーターでは追い付かなくなるし環境にも良くない。そこで、窓を開けなくても済むように、小中学校や保育所等の各教室（保育室）に高機能空気清浄機を早急に設置したいと考えている。その財源は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を予定している。

[閉会時刻 12時00分]